

## 令和3年度佐賀大学研究者国際交流支援事業報告書

令和 年 月 日

国際交流推進センター長 殿

下記のとおり報告します。

1. 国際研究集会名	イスラエル・ベツアルエルデザイン美術アカデミーとの教育研究発表会		
2. 事業責任者 (申請者)	三木悦子	3. 所属・職名	芸術地域デザイン学部
4. 開催期間	令和 4年 3月 1日 ~ 令和 4年 4月 15日		
5. 参加者数 ※参加者名簿(様式任意)を添付	参加者数 _____ 50 _____ 名 うち、外国人数 _____ 30 _____ 名、学生数 _____ 名(修士課程以上)		
6. 支援金額	金 額 _____ 200,000 _____ 円		
7. 招待講師	所 属 _____ 職 名 _____ 氏 名 _____		
8. 謝金支出額	金 額 _____ 199,989 _____ 円		
9. 国際研究集会の内容	<p>イスラエルのベツアルエル美術デザインアカデミーとの新型コロナウイルス禍での交流を模索し、有田セラミック分野とイスラエルのベツアルエル美術デザインアカデミーのガラス・セラミック分野の、まだ顔を合わせたことのない学生が同じ課題『おばあちゃんのカップ』に取り組んだ。</p> <p>私たちの最も身近にあるカップ、中でも世代を遡った『おばあちゃんのカップ』を取り上げ、それぞれの視点で『おばあちゃんのカップ』の物語を写真と共に合同展示した。</p>		

展示初日には、有田キャンパスエントランスギャラリーとベツアルエル美術デザインアカデミーの展示空間をオンラインでつなぎ、相互の展示の様子を確認し、さらに相互学生の発表をそれぞれ行なった。

『おばあちゃんのカップ』

○オープニング発表会：

3月1日（火）17:00～17:30

【イスラエル現地時間 10:00～10:30】

○展示会期：

3月2日（水）～4月15日（金）9:00～17:00

※土曜日・日曜日、祝祭日を除く平日のみ開催

【イスラエル ～3月31日（木）】

○会場：

佐賀大学

有田キャンパス エントランスギャラリー

【イスラエル ベツアルエルデザイン美術アカデミー 4階展示ホール】

○入場料：無料

הספד של סבתא  
おばあちゃんのカップ  
GRANDMOTHERS CUP

החולקה לייצוב קרמי חכוכית בשיתוף בתערוכה משותפת שתתפתח ותייה מוגנת במקביל בשני מוקדים ישראל ויפן  
佐賀大学芸術領域デザイン学部展覧会「おばあちゃんのカップ」は、イスラエルのベツアルエルデザイン美術アカデミーとの共同展覧会です。互いに異なる文化や芸術の背景を共有し、相互理解を深めるためのプロジェクトを行います。第一弾は「おばあちゃんのカップ」。展覧会の「おばあちゃんのカップ」のストーリーを共同展示し、互いの視点を共有します。



OPENING | פתיחה  
'22.03.01 » ISRAEL 10:00  
TUESDAY JAPAN 17:00

CLOSING | נעילה  
'22.04.15

CURATORS : ETSUKO MIKI, YUHKI TANAKA, LISBETH BIGER, Yael ATZMONY  
佐賀大学 芸術領域デザイン学部 自由学センター 学務課  
SAGA UNIVERSITY  
Academy of Arts and Design  
בית הספר לאמנות ודизайן  
Bezalet





#### 10. 特記すべき成果・波及効果

このプロジェクトによって、イスラエルと日本の文化・歴史的背景の違いはもちろん、一つの日常のカップを通して見えてくる個々の物語、そしてカップが発する物語も見ることができた。造形表現を志す学生の教育において、作品そのものではなく、そこにまつわる、またはそこに生まれてくる物語が、その作品そのものの表現につながるということが明らかに見え、学生らもその視点を学ぶことができた。

さらにオンライン発表会を通して、学生の視点を彼らの言葉でリアルに感じ取ることができた。国際交流ができなかった状況において、同じ造形表現を学ぶ学生同士の有意義な交流を行うことができた。

この交流に関して、きっかけを在イスラエル大使館が関わってくださり、展示に関しては広報にも協力いただいた。

広報先: 佐賀大学プレスリリース、在イスラエル大使館、有田ケーブルテレビ、ありたさんぽ、potar i

※欄内に収まらない場合、適宜、行を追加し、ページを増やしていただいても構いません。